

きか否か

四、明春の町村會議員選挙ニ對する態度

足尾だとか野田だとかある地方に依つては地方自治体に参加すべきか否か若し参加するとすれば其統制を如何にするかと云ふ問題に正面してゐます

五、中央争議部の運用に就いて

中央争議部ヲ組織的に徹底に運用するに就いて其の基金を如何にするか又其の部員の配置を如何にするか

六、調査部の充實と組合調査

調査部の働きは組合運動の基本資料を蒐集するものでありますから調査部ヲ運用を重要視して其の能率の高まるやうにしたいと思ひます其れが爲めには本部の調査部と各同盟會、聯合會、組合の調査部とは如何にして有機的の關係を有つべきか

七、年鑑の出版に就いて

本年度大會に於て決定した年鑑の出版に就いて其の大綱を決定する必要があると思ひます

八、労働組合法案、労働争議調停法案の對策

上記の二法案は其の冬の議會に思惟確実に提出されるやうです

其の内容に就ては探知し得ないは遺憾ですけれども組合法案の方は大抵大正八年の内容を案が骨子になるらしいです其の内務省案を基礎に對策を講じて置いても大した増進はなからうと思はれますから附録として内務省案を添附して置きますから充分研究を願ひます

九、総同盟の組織完成に就いて

我が総同盟は創立以来十数年幾多の変遷を経て今日の泰長を見ました我々は我が総同盟創立以来の實戦の経験と近時の資本主義の伸張に應対する必要上組合の組織は集中主義合同主義の下になければならぬと主張して来ましたが、其の組織を見るに吾々の主張する集中主義合同主義が實際に現はれて居ない感があります吾々は組合運動必至の情勢から推して其の際是非共觀念論的な集中主義合同主義を現實的組織の上に表現して組織を整備し資本主義の戦術に應對せなければならぬと思ひます勿論其のことは最も重要なこととありますから当然次年度の大會で決定されなければならぬ性質のものでありますが中央委員會としても相當の程度まで協議し、置く必要があると思ひます協議の便宜上私案を附録として添へて置きます

大正十三年八月廿二日

日本労働総同盟會長代理

十

主席 加藤 勤